



6年生租税教室 「税金」の大切さについて考える

前途洋々

6年生は、社会科の学習の一環で、他校同様毎年租税教室を実施しています。今回実施したのは12月9日(月)の3時間目。宇土税務署の職員の方に講師としておいでいただき、興味深いお話をしていただきました。「税金」といっても、「国税」と「地方税」があり、納める機関が違うこと、また、DVDを見ながら、もし税金がなくなったら様々な住民サービスが受けられなくなるなど、多くのことを知りました。そのDVDの中では、ゴミ収集、警察や消防などの例が扱われていましたが、子供たちも、税金の大切さについて実感することができたようです。最後に質問や感想を出してもらいましたが、「税金が自分たちの暮らしにとって、とても大切なものだと分かりました。将来しっかり納めていきたいです」といった感想が出ていました。



12月の「のびっこ集会」 年が明ける前の集会の内容は？

早いもので、4月から回を重ねてきた「のびっこ集会」も、12月9日(月)が今年最後の会となりました。いつも感心するのは、企画運営委員さんの見事な司会ぶり！感心させられます。また、集会の最後には全体で感想交流をしているのですが、多くの子どもたちの挙手が見られるようになりました。今後、成長するにつれ、大人数の中で活躍する機会も増えることでしょう。今のうちに、自分の考え、意見を言う練習を積んでほしいと考えています。さて、12月の生活目標は「みんなとなかよくしよう」です。具体策のところでは、「ふわふわことばをつかう」「相手の話を最後まで聞き反応する」など、大切なことがたくさん掲げられました。また、保健体育委員会からは、「はみがき名人」の発表、企画運営委員会からは、赤い羽根共同募金で集まった金額の周知がありました。4日間ですでに864円集まりました。(すでに社会福祉協議会にお渡ししています)ご協力ありがとうございました。感謝申し上げます。



4年「ふるさと食の名人による出前授業」 みかんを使ってケーキと大福をつくりました

12月6日(金)の3・4時間目、県の事業である地域の食の名人派遣による授業を活用し、4年生が地元の特産物のみかんを使って「みかんケーキ」と「みかん大福」を作りました。11月に、名人(松合の方です)をはじめ関係の方々がおみえになり、担任の先生と詳細に打合せをされ、6日の本番を迎えました。ケーキは炊飯器で作るタイプのもので(炊飯器は最強の調理器具ですね)、大福は果汁を使ったものでした。保護者の方にも4名お手伝いいただき、また、みかんの提供もいただいて、子どもたちは大喜びで調理に取り組み、できあがったケーキと大福をペロリ。きっとおうちでも作ってくれるのではないかと思います。今回は、「地元の名産品を使った料理をぜひ作りたい」という担任の先生たちの希望でしたが、とても人気がある事業のようで、申し込んだものの、当たるとは思っていないませんでした。幸運なことに本校でも実施でき、「うれしい」の一言です。機会があれば、いただいたレシピを共有します。(写真左から、調理中の児童、みかんケーキ、大福)

